

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.127

お得商品の注文が定期購入になっていた!!

【事例】「30日分が送料500円を負担すれば実質無料」の広告を見てダイエットサプリを注文。1ヵ月後に同じ商品が届き、2,700円の振込用紙が同封されていた。通信販売業者に問い合わせると、4ヵ月の定期購入が条件になっており、広告にもホームページにもきちんと書いてあると言う。確認すると小さい文字で書かれている。注文時には気づかなかったので解約したい。

健康食品、化粧品、水等で定期購入にすると初回購入価格が格安に設定されていたり、会員になると自動的に定期購入になったりする場合があります。通信販売には、クーリング・オフ制度がありません。返品・交換等は通信販売業者が定めるルールに従うことになります。広告を見る時は、事業者がアピールする大きな表示だけでなく、購入条件や返品特約(解約条件や返品できるか)を確認しましょう。未成年者が申し込む場合は、保護者と一緒に契約内容を確認し、同意を得たうえで申し込みましょう。トラブルになった時は、消費生活センターにご相談ください。



全国移住ナビ・移住体験談コンテストの表彰式で高市総務大臣と

3月には「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたが、その中で、「地元回帰と新たな外部人材の流入促進」を目標の一つに創っていきましょう。

\*テレワークとは:  
情報通信技術(ICT技術)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。例えば自宅の仕事をして、会社とはパソコンやインターネット、電話、ファックスで連絡をとる働き方のことをいいます。

私たちの故郷、西脇市には全国に誇ることができる地域食材があります。例えば、地域商標登録がされている「黒田庄和牛」は、黒田庄地区で肥育されている但馬牛で、年間約600頭が市場に出荷され、その約8割が神戸ビーフとなり、一部は海外へも輸出されています。また、「日本のへそゴマ」は西脇市・多可

町で栽培されている金ゴマで、国内自給率0.1%以下の市場において、外国産の胡麻には出せない風味があり、有名な洋菓子店でも利用されるなど人気を博しています。ほかには酒造好適米「山田錦」や秋から冬にかけて枝豆や黒豆で食される「丹波黒大豆」、さらにはブランド化を目指す「イチゴ」などがあります。

そこで、西脇市では平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でもてなし条例」を施行しました。この条例の施行をきっかけに市内で見かける「にしわきのおもてなし」を紹介し、このコーナーで市内に広めていきたいと考えています。自薦、他薦は問いません。ぜひ、あなたの「おもてなし」をお寄せください。

## おもてなしコラム 1

にしわき、食、のおもてなし  
この機会に異文化交流を体験し、自分をもうひとまわり大きく成長させてみませんか。  
8月16日(火)〜25日(木) 26日(金) 帰国予定  
派遣期間  
◆応募締切 4月20日(水)  
◆応募・問合せ 学校教育課 (市役所内線534)

## 市長からの手紙

27



総務大臣からの表彰状

### 「テレワーク実践賞」を受賞し、総務大臣から表彰

総務省では移住希望者向けのホームページ「全国移住ナビ」を設けて、地方移住者の体験談等を紹介しています。西脇市はこのサイトで大阪府から市内に移住された伊藤淳一さんの体験談を紹介し、「テレワーク実践賞」を受賞しました。

3月には「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたが、その中で、「地元回帰と新たな外部人材の流入促進」を目標の一つに



▲レントン市内にて (H27.8)

## 好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる  
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

### 西脇市中学生親善使節団員を募集

西脇市・市教育委員会・市国際親善交流協会では、姉妹都市のアメリカ合衆国ワシントン州レントン市へ派遣する「中学生親善使節団員」を募集しています。文化や生活様式、考え方の違いなどを理解し、たくさんの方の視界を広げるチャンスです。

昭和44年に西脇市とレントン市が姉妹都市提携を結んで今年で47年目を迎えます。この間に、中学生親善使節団や市民使節団を相互に派遣するなど、交流を深めてきました。中学生親善使節団の相互派遣は、昭和63年から続いており、今年も市内在住の中学3年生を対象に募集を行います。これまで参加した先輩たちからは、中学3年生の皆さんに「英語が苦手だという人ほど応募してみてください。英語を話す楽しさを味わうことができるし、日本と違う習慣・文化を生で体験できるチャンスです」との声が届いています。

◆募集人数 14名  
◆費用 個人負担8万円 ※その他の公的費用は市が負担します。  
◆応募資格 市内在住の中学3年生  
◆応募方法 所定の申込書と作文(目的や希望理由を指定原稿用紙両面1枚にまとめたもの)を学校教育課へ提出してください(郵送可)。申込書と原稿用紙は、市ホームページからダウンロードできます。なお、応募された作文等は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

◆応募締切 4月20日(水)  
◆応募・問合せ 学校教育課 (市役所内線534)

### 心のスケッチ

86

### 人権教育室コラム

#### 心のエネルギー

エンパワメントという言葉が聞かれたことがあるでしょうか。1990年代に日本に入ってきたこの言葉は、人は生まれながらにさまざまな素晴らしい力(パワー)を持っているという信念から発する考え方と言われています。

性格や好みを指すにとどまらず、男である、女である。日本人である、外国人である。障害がある、ない。同性愛である、異性愛である。どんな顔をしている等々そのすべてがその人をほかに存在しない人間として成立させているがゆえに、その人のパワーだとされています。

このパワーは、周りの人から受け入れられ、大切にされ、感情表現を受け止めてもらったりすることで、自分の大切さを知り、尊さを感じ、大きく成長します。

子どもの成長の場合には、身近な家族という存在が、「わたし」という存在を無条件で受け入れてくれることが大切です。親子の信頼関係が基本として成り立つ人間関係が、その後の人生を通して役

立ち、生きていくパワーとなるのです。先日の企業人権研修で鑑賞したビデオの中に、日本企業で働くインド人の発言で「課長は牛みたいに働くね」というシーンがありました。この発言に私は失礼な言い方という印象を抱きました。しかし、インドでは牛は神聖な動物であり、宝物です。黙々と働くことを例えた褒め言葉だったのです。このケースで、同僚から失礼だと一方的に叱責される外圧があり、インド人としてのアイデンティティを失うような状況となれば、本人の持つパワーは極端に低下することになるのではないのでしょうか。

すべての方の多様性を理解し、良さを発見するためには、コミュニケーションは非常に大切です。互いのパワーが発揮されるエンパワメント社会は、自分にとっても、他人にとっても活力にあふれる社会であり、暮らしやすい社会ではないのでしょうか。(人権教育室)